

市民版環境白書「グリーン・ウォッチ(2019)」

2019.6.5

発刊記念シンポジウム

於:参議院議員会館  
地下1階B107

## 第2章・第1節 プラスチック問題

# 人類は「プラスチック」にどう向き合えばよいのか？

弁護士 中下裕子

「グリーン連合」共同代表

(NPO法人「ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議」代表)

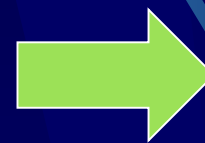
# 第1節の構成(31頁～41頁)

- 1 人類は「プラスチック」にどう向き合えばよいのか？(中下)
- 2 プラスチック資源循環を巡る世界の動き
- 3 プラスチック問題に関する国内の動き  
(中井)

# プラスチックの功罪

## ■プラスチックの利点

- ・ 人類が初めて生み出した人工材料
- 軽量で可塑性に富む
- ・ 熱を伝えにくい
- ・ 水に強い
- ・ 電気絶縁性がある
- ・ 酸・アルカリに耐えるものが多い
- 価格が安い



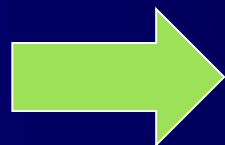
発明後、わずか  
100年間で暮らしの隅々にまで  
浸透

# ■プラスチックの問題点

## ①マイクロプラスチック問題

- ・環境中で微細化→魚介類に取り込まれる→食物連鎖による生体濃縮
- ・PCBなどの有害化学物質の運び屋

生態系への  
の深刻な  
影響



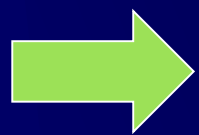
世界的に廃絶の取組みがなされている  
POPs(残留性有機汚染物質)と同じよう  
な問題を引き起こすおそれ

## ②添加剤（環境ホルモン）の多用

- 多様な用途に対応するため材料に添加剤が加えられ改質が施されている。
- 添加剤には環境ホルモンなどの有害化学物質が少なくない
- 使用、リサイクル等に伴って、有害物質が拡散

## ③プラスチックの原料は石油（化石燃料）

- 脱炭素社会とは相容れない



以上から、プラスチックは原則として廃絶（大幅削減）の方向へ舵を切るしかない

# 脱(減)プラスチック社会の実現に向けて

- 海ごみ問題の解決にとどまらず、プラスチック全体について新たな戦略が必要

## <参考>EUのプラスチック戦略

- ・シングル・ユースプラスチック製品の規制(34頁の表2-1-1)
  - …2021年から禁止することを合意
- ・ペットボトルを2029年までに90%回収目標
- ・ペットボトルの再生材利用率を2025年までに25%、2030年までに30%とする目標
- ・飲料容器等のプラスチックを、2025年までに90%リサイクル
- ・代替品が存在しない品目は、2025年までに少なくとも25%使用量削減